まちレポ Town Topics
まちのできごとレポート

7/22 まちなか賑わい夕市

今年度１回目の開催

沼田町商工会（吉住淳男会長）主催のまちなか賑わい夕市が７月２２日（金）本通り３丁目特設会場で開催されました。

会場には、とれたて野菜の販売や、コストコの商品が販売されるコストコ市のほか、総菜販売などの出店が並び、多くの方々で賑わっていました。

また会場では抽選会も行われ、町内で買い物ができる商品券が当たると、大きな歓声が上がり、たくさんの買い物袋と景品を持ち帰りました。

7/23 みんなの食堂

子どもから大人まで集まる場所に

沼田町社会福祉協議会（松田剛会長）主催で、ちいき交流ひろば「みんなの食堂」が７月２３日（土）暮らしの安心センターで開催されました。

このイベントは、子どもから高齢者までの多世代が同じ場所に集まって過ごし、地域の支えあい活動を推進することを目的として開催され、冷やしラーメンなどの販売やヨーヨーなどの昔遊びが楽しめるコーナーのほか、家で使用しなくなった食品を寄付してもらい、無料で受け取ることができる「みんなのパントリー」やフリーマーケットのコーナーが設置されました。

また、ウクレレ＆歌声サークルの演奏会では、会場に集まった子ども達を巻き込んで、歌や踊りを披露し、会場が一体となって楽しみました。今後は、月に１回開催する予定となっています。

7/23 プロジェクタースクリーンを小・中学校へ寄贈

沼田ライオンズクラブ６０周年記念事業

沼田ライオンズクラブ（生沼篤司会長：会員４１名）が６０周年を迎えるにあたり、記念事業として沼田学園沼田小学校と中学校それぞれに、２００インチの巨大スクリーンを寄贈されました。

贈呈式には、７名の会員が集まり、生沼会長から「今まで以上の多様な学習に役立てていただければ幸いです。」とスクリーンを渡し、沼田小学校の中川浩之校長は「このようなすばらしい物を頂き感謝します。今後学校行事などで有効に使わせていただきます。」と話し、沼田中学校の里舘幹彦校長は「文化祭や生徒会活動にとても助かります。生徒と一緒に大切に使っていきます。」と感謝を述べました。

7/27 クラフトビール無料試飲会

新たな特産品

町は新たな特産品としてクラフトビールの開発を始めており、７月２７日（水）の販売に先駆けて無料試飲会が小泉商店横駐車場で行われました。

地域おこし協力隊の村上信吾隊員がクラフトビール開発を主導し、雪中米を使用した米の甘味が加わった沼田オリジナルクラフトビールで、町内のビール好きが集まる「沼田クラフトビールクラブ」の試飲会で好評だった、すっきりとした味わいが特徴の「ピルスナー」とフルーティーな苦みとキレのある「NEIPA」の２種類を無料で提供しました。

村上隊員は「１５０種類あるビールの中で今回は、全く味わいの違う２種類を選びました。それぞれの違いを楽しみながら飲んで欲しいです」と話されました。

7/29 第４８回町民いこいの広場

夏の楽しい思い出に

沼田商工会青年部（小泉英之部長）主催による第４８回町民いこいの広場が７月２９日（金）駅前とむとむ広場で開催されました。

認定こども園の園児たちによる太鼓や１００円カレーの販売などがあり、N-Link によるゲームでは、子ども達がチーム戦で競い、会場は応援の声が響き渡りました。

午後６時になると、子ども盆踊りの音楽と太鼓の音が響き渡り、子ども達は楽しそうに踊り始めました。その後、手持ち花火が配られ、友達と花火を楽しみ、夏の夜を満喫しました。

7/30 サマービールパーティー

クラフトビールも登場

暑い日差しが降り注ぐ絶好のビール日和になった７月３０日（土）駅前とむとむ広場で商工会青年部（小泉英之部長）が主催するサマービールパーティーが開催され、小泉部長は「3 年ぶりのサマービールパーティーです。最高の天気の中で、最高のビールを楽しんでください。」と挨拶されました。

会場には生ビールや、今年新たに開発された沼田町オリジナルクラフトビールが登場し、来場者で長蛇の列となっていました。また、大型テレビや自転車が当たる大抽選会も行われ、当選番号が発表されるたびに歓声が起こり、会場は最初から最後まで大盛り上がりでした。

7/31 自分の限界へ挑戦
ベンチプレス・クラシックベンチプレス選手権大会

第３２回北海道ベンチプレス選手権大会・第２６回北海道クラシックベンチプレス選手権大会が７月３１日（日）町民会館で開催され、全道各地から多くの出場者が集まり、自分の限界に挑戦しました。

沼田町からは、浜谷隆司さん（市内１東）、馬狩良光さん（市内５）、馬狩柊斗さん（市内５）の３名が出場し、大会最年少で今回が初めての出場となった馬狩柊斗さんが、自己最高記録の６２．５kgを持ち上げ成功させると、会場は大きな拍手で包まれました。

馬狩柊斗さんは「初めての大会でとても緊張しましたが、練習では挑戦したことのない重量を持ち上げることができて嬉しかったです。今後は８０kgを目標に頑張っていきたいです。」と笑顔で話されました。

8/3 美味しいトマト製品へ
なつのしゅん初出荷

北のほたるファクトリーでトマトジュースやケチャップの原料である加工用トマトの受け入れが、８月３日（水）に始まり、谷口弘子さん（沼田１）が初出荷として約４４０kgの真っ赤なトマトを持ち込みました。

谷口さんは「こんなに早くとれたのは初めてで驚きましたが、いつもと同じくらい良いトマトが採れました。」と話され、横山町長から、初出荷に伴う記念の品が贈られました。

今年の加工用トマトは、３２０トンの受け入れを目指しています。

8/6 町長がご案内
町長がバスガイド～沼田町長編～

北海道中央バス（株）が主催する「町長がバスガイド～沼田町長編～」が、８月６日（土）全道各地から２１名が参加し沼田町内を見学しました。

横山町長が、夜高あんどん祭りの半纏を着用しバスに同乗、最初は夜高会館を案内し横山町長からこの小さなまちで夜高あんどん祭りが続いている沼田町の魅力などを説明し、参加者からは「誰があんどんを作っているの？」「縄はどうやって巻くの？」などと質問があり、札幌から参加した５０代の女性は「２０年ぶりに沼田町に来ました。祭りもいいけどホタルも素敵ですよね」と話されていました。

8/6 町内の仲間たちと

第２１回町民パークゴルフ大会

沼田町体育協会（伊藤淳会長）が主催する第２１回町民パークゴルフ大会が８月６日（土）町民パークゴルフ場で、開催されました。

町内の約４０名のパークゴルフ愛好者が集まり、優勝を目指し熱戦が繰り広げられ、伊藤会長は「普段の練習の成果を遺憾なく発揮し、楽しんで頂ければと思います。」と挨拶されました。

男性の部では木谷豊さん（市内１北）、女性の部では河島東代恵さん（旭町東）が見事優勝に輝きました。

男性の部			女性の部		
優勝	木谷	豊さん（市内１北）	優勝	河島	東代恵さん（旭町東）
２位	吉尾	孝之さん（仲町東）	２位	筒井	照子さん（南町）
３位	吉田	由比己さん（仲町東）	３位	山口	梅子さん（市内４）

8/12 夏休みの思い出に

ぬまたこども夏祭り

地域おこし協力隊の髙橋美優さんと中島里帆さんが主催する、ぬまたこども夏祭りが８月１２日（金）石狩沼田駅横の公園で開催されました。

このお祭りは「夏休み中に子ども達が楽しめるイベントを開催したい」という二人の思いから開催され、射的やスーパーボールすくい、スライムづくりの体験コーナーなどが設置され、子ども達で賑わいました。

髙橋さんは「他の協力隊員や商工会、ウクレレサークルの方々にもご協力いただき、開催することができました。みんな楽しんでくれているので、来年以降も続けていきたいと思っています。」と話されました。

8/12 夏の風物詩

第６７回北海よされ盆踊り大会

商工会・盆踊り実行委員会が主催する第６７回北海よされ盆踊り大会が８月１２日（金）とむとむ広場で開催されました。

午後６時から太鼓と音楽が鳴り響く中、子ども盆踊りが始まり、その後大人盆踊りが行われ、参加者は、やぐらを囲み、浴衣や様々な仮装をして、日本の夏の風物詩である盆踊りを楽しみました。

8/19 明日萌駅夏フェスタ

夜高あんどん祭りコラボ企画

夜高あんどん祭りの開催に合わせて、鉄道ショップ、合同会社ぽっぽや（旭川市）が主催する「明日萌駅夏フェスタ」が、8月１９日（金）２０日（土）の２日間、明日萌駅で開催されました。

限定販売された明日萌駅硬券入場券は、自分で入場券に日付を入れることができるダッチングマシンという機械を使うことができ、多くの鉄道ファンで賑わいました。

恵庭市からＪＲに乗って恵比島駅に来た男性は、「明日萌駅が好きでいつも来ています。これからもイベントがあれば参加したいです。」と話し、限定グッズなどを購入していました。

8/24 こども園へ雪のプレゼント

みんなで涼しい雪山登ったよ

町から沼田認定こども園へ、雪のプレゼントをしました

雪山センターで保管されていた２．５トン分の雪が、認定こども園の前庭に届けられ、全園児がクラス毎に５つの雪山で、園児たちは「冷たい！」「雪山登ろう！」「かき氷できました！」など、きゃっきゃっとはしゃぎながら、バケツやスコップを握りしめ、雪と戯れ遊んでいました。

8/24 小学４年生メロン皿敷き体験

収穫まであと少し

沼田小学校（中川浩之校長）の４年生１４名（２名欠席）が、６月に植えたメロンに皿を敷く体験授業が行われました。

これは毎年、農業女性グループ「農天気の会」（藤村富士子代表）が、メロンの定植から収穫をとおして、子ども達に農業の良さを知ってもらい、優しい心を養ってもらうことを目的に実施しています。

今回体験したメロンに皿を敷く作業は、地面で育っているメロンの下に皿を敷くことで傷や汚れを防ぎ、見た目も綺麗なメロンに育てるもので、児童たちは、大きく育ったメロンに驚きながら、皿を丁寧にメロンに敷いていきました。

この後、９月中旬頃にメロンの収穫を行う予定となっています。

8/25 ロボットトラクター実演デモンストレーション

無人で圃場内を自動走行

沼田町スマート農業研究会（山岡禎弘会長）が８月２５日（木）ロボットトラクター実証試験を行いました。

今回の実証試験は、桝田浩孝氏（北竜２）の約１．１ha の圃場で、無人で自動走行するロボットトラクターが整地を行いながら、有人で運転するトラクターが播種作業をする２台協調作業を行い、農作業の省力化・効率化に向けて実演されました。

8/27 ＪＡ北いぶき女性部イベント音楽演奏会

音楽に癒されました

ＪＡ北いぶき女性部（秩父別町：戸村千代美部長）が主催した音楽演奏会イベントが、８月２７日（土）町民会館で行われました。

これは、女性部の活動で女性部員の楽しそうな姿を見てもらい、部員を増やしていくことが目的のイベントです。

最初に沼田中学校の吹奏学部８名が、モンゴル800 の「小さな恋のうた」などを演奏すると会場から大きな拍手が沸き、第２部では道内外で活躍するアンサンブルグループ「奏楽（そら）」の演奏とオペラの発声に感動し、来場者はステージにくぎ付けになりました。

戸村部長は「コロナでなかなか外に出れない中で、皆が音楽で楽しんでいただければうれしいです。」と話されました。

8/28 ほろしん森のマルシェ

自然を楽しむ

沼田町まるごと自然体験プロジェクトが主催するほろしん森のマルシェが８月２８日（日）ほたる学習館前で開催されました。

会場では、沼田町産野菜の販売など町内外から８店舗が出店したほか、木製のコースターやスプーン・フォークを作ることができる木工クラフト体験があり、参加した子供たちは、納得のいくまで木を削り、完成した時には満足げな表情を浮かべながら、お父さんやお母さんに見せていました。

8/30 高穂スキー場ロッジ改築工事上棟式

最後まで無事故を願い

今年リニューアルオープンする高穂スキー場のロッジ改築工事上棟式が、８月３０日（火）に執り行われました。

横山町長は「このまま改築工事が無事故で終わり、町民の皆様から愛される施設になることを楽しみにしています。」と挨拶され、餅まきでは町内からたくさんの人が集まり、無事故でロッジが完成することを願いました。

9/1 第21回NHK杯すずらん記念「明日萌の里」ペアパークゴルフ大会

ペアで協力しながら

第２１回ＮＨＫ杯すずらん記念「明日萌の里」ペアパークゴルフ大会が、９月１日（木）町民パークゴルフ場で開催されました。

昨年を上回る全道各地から１２８名６４組の男女ペアが参加され、横山町長は「最後まで諦めないで頑張ってください。また、大会後には是非、ほろしん温泉で疲れを癒してください。」と選手たちを激励し、プレー中に雨が降ることもありましたが、ペアで協力して優勝を目指しました。

9/5 子ども文化劇場「銀河鉄道の夜」

プロの演劇に感動

沼田小学校で９月５日（月）子ども文化劇場が開催されました。

この事業は、芸術文化に触れる機会が少ない児童に対し、その機会を提供することで情操豊かな人間性を養うことを目的として、小学校で隔年実施しているものです。

今年は、劇団民話芸術座（東京都豊島区）による「銀河鉄道の夜」が講演され、児童は演者の迫力ある演技に目を輝かせていました。

公演後は全校児童を代表し、６年生の矢野桜誠さんが「演技力と声量に圧倒されました。貴重な経験をありがとうございました。」とお礼を述べました。

9/7

災害に備えて

１日防災学校

１日防災学校が９月７日（水）小・中学校を対象に防災意識を高めることを目的として開催されました。

小学校を対象にした授業では、札幌管区気象台の職員３名による授業が行われ、１～３年生は防災カルタを活用し、楽しく災害・防災に広く触れながら防災意識を高め、４～６年生は段ボールベッドを実際に組み立て、組み立てることの難しさや避難所での段ボールベッドの必要性について学習しました。

中学校では、「Do はぐ」というカードゲームで避難所を運営し、高齢者など様々な事情を持った避難者を受けれる難しさと今回得られた「気づき」を全校生徒と共有しました。

9/7

４７都道府県まわりきるまで帰りません

今村翔吾のまつり旅 in 沼田

「塞王の楯」で第１６６回直木賞を受賞された今村翔吾さん（滋賀県大津市）が、全国の書店や学校など約３００カ所をワゴン車で回る「今村翔吾のまつり旅」の行程で沼田町を訪れました。

沼田町は全国２４０カ所目で、今村さんから小説家としてデビューするまでの秘話や今回の旅のエピソードなどが話され、会場に集まった約３０名のファンは頷きながら、耳を傾けていました。

今村さんは、「まつり旅を通して、文学界が盛り上がり、皆さんが本を読むきっかけになってもらえばと思っています。」と話されました。

山形県新庄市で最終日を迎える９月２４日まで残り約６０カ所を駆け抜けます。

ランナーに大好評!!

北海道マラソンで 沼田町の雪玉をランナーに提供しました。

「輝け雪のまち宣言」20 周年記念事業として、８月２８日（日）に札幌市で３年ぶりに開催された北海道マラソンで沼田町の雪約３トンを使って約２千個の雪玉を手渡したほか、満開の雪氷桜を展示し、ランナーの気持ちのこもった走りを後押ししました。

コースの２５キロ付近にあるランナーサポートエリア（前田森林公園内）で雪玉を受け取ったランナーは、「冷たくて気持ちい！これは最高！」と言いながら頭や首などに当てながら休憩し、ゴールを目指して走り出しました。